

第100回総務委員会と経産省ヒアリング記録

1. 開催日時 平成22年6月16日(水)
- | | | |
|-------|------------|----------|
| 12:00 | 第100回総務委員会 | 鉄鋼会館 806 |
| 15:00 | 経産省ヒアリング | 経産省会議室 |
| 16:30 | 業界紙記者と懇談 | 当組合事務所 |

2. 第100回総務委員会

出席者

吉里 勉 (総務委員長)
高木 建 (理事長)
酒匂雅信 (副理事長・東京支部長)
林 光雄 (副理事長・東海支部長)
木村秀明 (副理事長・大阪支部長)
柘野 (事務局)

議 題

- (1) 経済産業省ヒアリング資料の検討について
- (2) 組合員の入脱会状況について
- (3) 第1回「全国青年交流会」の開催計画案について
- (4) 第36期通常総会の開催日時・場所について
- (5) 今後の会合予定(案)について
- (6) その他

経 過

吉里委員長の司会により議事が進められた。

(1) 経済産業省ヒアリング資料の検討について

事務局より標記資料について説明、一部内容修正の上了承された。

(資料は別項参照)

(2) 組合員の入脱会状況について

事務局より、22年度の組合員及び賛助会員の異動状況について

報告があり、了承された。22年5月末時点の組合員数は165

社・6事業所、賛助会員は22社・1団体。

(3) 第1回「全国青年交流会」の開催計画案について

事務局より、本年度の新規事業として実施する標記青年交流会の開催計画案について説明があり、審議の結果、了承された。

概要は以下の通り。

- ・ 目 的 全国各支部の若手経営者及び経営幹部有志が一堂に
会し、意見交換や事例研修等を通して見識を広める
とともに、情報の相互共有化を推進する。
- ・ 開催時期 10月15日(金)、または10月29日(金)
→その後、会場予約等の都合により、10月15日
開催の方向で調整中。
- ・ 場 所 浦安鉄鋼会館2Fホール
(※各地持ち回り開催も考えられる。)
- ・ スケジュール
 - 13:00～16:00 事例研修
 - ①スカイツリー、新木場陸橋、浦安鉄鋼団地
 - ②東京駅前からバスで巡回
 - 16:00～18:00 情勢交換会
 - 18:00～19:30 懇親パーティ
 - (※事例研修としては、今後、鋼構造物の見学のほか、製鉄所見学、
シャワー工場見学、高炉メーカー、商社関係者による説明会などを
企画して実施する。)
- ・ 22年度予算 シャワー工組の「青年会の育成」予算： 40万円
(※必要に応じ参加者から臨時会費の徴収も考えられる。)
- ・ 案内先 支部の青年会メンバー（原則50歳未満）、ほか
- ・ 参加者予定数 40～50名
- ・ 開催頻度 毎年10月開催

(4) 次期（第36期）通常総会の開催日時・場所について

次期通常総会の開催日時及び場所について検討を行い、開催日は、平成23年
5月20日（金）と決定した。

また、開催場所については、以下の候補地がリストアップされた。

①熱海、軽井沢、北関東、②長島温泉、犬山、③大津、和歌山。

これらの諸元を調査し、経済性、利便性、会議場の規模、温泉の有無、近隣の
ゴルフ場等を評価基準に場所を絞り込むこととなった。

(5) 今後の会合予定（案）について

本誌1ページ目の会合予定表をご参照ください。

3. 2Q経済産業省ヒアリング

出席者

経済産業省

小糸鉄鋼課長、葛岡課長補佐、鈴木係長、他

厚板シャ工組

高木理事長、酒匂東京支部長、林東海支部長、木村大阪支部長、吉里理事・総務委員長、柘野（事務局）

経 過

最初に高木理事長より、「3カ月前の需要と比べると、建機は外需増により急ピッチで増産体制に入っているが、建設は一層低迷している。全国のシャ業者は価格転嫁に奔走しているが、需要がないので、非常に難しい。ファブ業界では、事業所の集約や再編の動きが拡大し、注視すべき事態に至っている。中小ファブはその日暮らしが続く。輸入鉄骨問題も根強い。ゼネコン自体が海外ファブを育てている。造船も手持ち工事量の先細りで、来年度以降は大変だろう。こうした中、価格・量の両面で、実勢に近い形で契約がなされるべきと考えており、これからもこの点をメーカーに要望していく。タイミング上のアンマッチはシャでは吸収できない。ユーザーも「電炉材、中国材でもかまわない」と言うところが出てきており、母材の切り替えが顕在化する可能性もある。今後も生き残りをかけて、我々シャと、需要家、メーカーとの間で、ギリギリの状況が続くだろう。この不況打開に向けた行政からのご支援を引続きお願いしたい。」との要望が行われた。引き続き、各支部長からの需要動向報告、及び意見交換が行われた。以上